

# コースプランナーレポート

OMM JAPAN 2018 にご参加ありがとうございます。今年の OMM JAPAN が皆さんの挑戦心をくすぐるようなイベントになったのであれば嬉しく思います。また、多くのスタッフ・ボランティアの皆さんにフォローしていただきましたことをあらためて感謝いたします。

## ①これまでからの変更点

地図について：

縮尺は地形が細かいことから 1/25,000 に戻した。

第 1 回目の 2014 年は JPEG の電子地形図を利用し、2 回目以降少しずつベクトルデータ化を進め、今年ようやく全データをベクトルデータ化する念願が叶った。これにより地図の見やすさや印刷の品質は大きく向上した。

また全域が同じ精度ではないことから利用を踏み留まっていた基盤地図情報を利用した。今年も全域が同じ精度ではなかったが、細かな地形を等高線で表現できるエリアが増え、ゲームとしての奥深さを高めることはできた。しかしデータ精度の異なる境界上では若干地形のずれがあったようだ。

耐水紙を利用することでポリ袋に地図を封入する運営面での準備を軽減することができた。一方で擦れや打撃に対する耐久性では少し犠牲になった部分もあった。

コースについて：

Score の Short が Medium に変わり、行動時間が 1 時間増えた。Score Medium 含め、コースの時間（得点）設定は例年とほぼ同じ想定で行った（表 1 参照）。

コースセットではこれまで通りルートチョイスを問うことに重点を置いた。コントロール位置は難しくならないよう（運・不運の影響を極力減らすよう）、ピークや鞍部、目立つ岩など明瞭な位置にあるものを利用した。ただし Straight A や Score Long では枝尾根や浅い谷など難しい位置にコントロールを 1 つは配置するようにした。

Score の得点の付け方をイギリスの OMM に準じた（10~50 点の 10 点刻み）。また、これまで Long と Short は同じコースを利用し、制限時間を変えて実施していたが（※）、今年はそのぞれのコースに一部専用のコントロールを配置し、別のコースとして設定した。

（※昨年は Short の範囲を少し狭めたが、利用したコントロールはすべて Long と共通であった）

## ②コース設定の経緯

昨年同様、イベントセンターとキャンプ地が既に決まっており、その前提で大まかなコー

ス案を決めることとなった。その際に、愛知県側だけしか使わないと 2 日とも似たようなレグが続くコースになってしまいそうだったので長野県側を利用できないか交渉してもらい、一部長野県側のエリアを利用できることになった。これにより 1 日目と 2 日目で大きくエリアを変えて実施することができるようになった。

愛知県側は実際に調査に入ってみると思っていたより作業道などが少なく、オフトレイルを進める場所が多かった。一方、長野県側はヤブの濃いエリアが多く、利用できる範囲は地図で見るよりあまり広くないことがわかった。

この段階で 1 日目と 2 日目で、範囲だけでなく問われる課題も少し変わるコースを提供しようとした。すなわち、1 日目は大胆なロングレグを配し **Over or Around** を課題にし、体力的要素も強く問うコースに、2 日目は短めのレグを挟んで細かく繋ぎ、やぶの影響が低いエリアへ誘導しながら正確なナビゲーション力も問うテクニカルなコースにする、ということである。

調査の段階でコースの大枠を固め、最初の試走を行った。試走では想定より時間がかかったことから **Straight A** と **B** を大幅に短くし、**Score** の範囲も狭めた。並行して安全管理チームにも現地を見てもらい、危険箇所を避けられるようコントロール位置を変更したり立入禁止エリアを増やしたりし、コースの調整を行った。

直前まで何度か部分的な試走を行い、地図や渉外上の問題を潰しつつ、コントロール位置も微調整してルートチョイスに悩むようなコースに仕上げていった。

### ③想定と実際

今回のコースの時間（得点）設定は表 1 の通り。**Straight** のウイニングタイムについてはどのコースも想定どおりの時間であった。完走率は 1 日目の **B**、**C** において例年に比べ著しく低かったが、2 日目は想定範囲に回復した。

2 日目は距離が短く、終盤は易しめのコースになるので完走率が高くなるのはある程度予想できたが、1 日目の完走率の低さはプランナーとしては想像以上で衝撃的でさえあった。1 日目と 2 日目のコースの違いを考えると、ナビゲーションなどの技術的な問題よりも体力面で上位チームと下位チームとの差が大きいことの現れではないだろうか。OMM JAPAN 開始当初はまったく逆の状況（体高技低）であったのでその変化に驚いた。

**Score** のトップの得点率については **Long** はほぼ想定範囲内に収まった。**Medium** のコースは過去の **Short** よりも得点率が改善したが、それでも想定よりは低く、エントリークラスとなっている **Score Medium** ではもう少し狭い範囲でのコース設定が必要だろう。

表 1 OMM JAPAN コース情報と結果

(a) Straight

Straight	日	コース	制限時間	ウイニング	想定 完走率	コース距離	想定 登距離	想定 ルート距離	距離+登 (L)	Top time (T)	Top pace =T/L	完走率
2014	Day1		9h	5h	50%	21km-1km	1770m	35km	52	5:07:30	0:05:55	41%
	Day2		9h	3.5h	60%	16km-1.5km	1590m	20km	36	3:34:45	0:05:58	55%
2015	Day1	L	9h	6h	50%	27km	2300m	35km	58	6:07:26	0:06:20	25%
		S	7h	4h	50%	18km	1500m	27km	41	2:53:53	0:04:14	69%
	Day2	L	9h	4h	70%	18km	1000m	26km	36	4:22:32	0:07:18	35%
		S	7h	3h	70%	15km	900m	20km	29	3:12:07	0:06:37	46%
2016	Day1	L	9h	6h	50%	22km	1630m	27km	43	4:42:29	0:06:34	59%
		S	7h	4h	50%	15km	1180m	20km	32	4:28:33	0:08:24	33%
	Day2	L	9h	4h	70%	17km	1340m	20km	33	3:49:04	0:06:56	77%
		S	7h	3h	70%	13km	1110m	16km	26	3:31:34	0:08:08	63%
2017	Day1	A	10h	6.5-7h	35-55%	29.2km	2080m	42km	62	7:19:32	0:07:05	44%
		B	9h	5-5.5h	50-70%	20.7km	1330m	28km	41	5:16:31	0:07:43	68%
		C	7h	3.5-4h	65-85%	14.6km	630m	20km	26	3:58:27	0:09:10	72%
	Day2	A	10h	5.5-6h	40-60%	23.2km	1370m	31km	44	5:35:55	0:07:38	76%
		B	9h	4-4.5h	55-75%	15.4km	880m	23km	31	3:45:29	0:07:16	86%
		C	7h	3-3.5h	70-90%	12.3km	660m	16km	22	2:54:42	0:07:56	88%
2018	Day1	A	10h	6.5-7h	40-60%	22.6km	1800m	29km	47	6:41:27	0:08:32	40%
		B	9h	5-5.5h	40-60%	16.9km	1550m	22km	38	5:02:18	0:07:57	19%
		C	7h	3.5-4h	40-60%	9.8km	990m	16km	26	3:50:40	0:08:52	41%
	Day2	A	10h	5.5-6h	50-70%	17.3km	1500m	22km	37	5:56:22	0:09:38	40%
		B	9h	4-4.5h	50-70%	13.1km	1200m	17km	29	4:22:47	0:09:04	50%
		C	7h	3-3.5h	50-70%	9.8km	990m	12km	22	3:04:39	0:08:24	60%

(b) Score

Score	日	コース	制限時間	満点	想定優勝 得点率	想定 ルート距離	想定 登距離	距離+登	Top Score	Top得点率	平均点
2014	Day1		4h+1	600	60-70%	-	-	-	384	64%	
	Day2		4h+1	500	60-70%	-	-	-	340	68%	
2015	Day1	L	7h+1	1000	60-70%	-	-	-	607	61%	
		S	5h+0.5	1000	60-70%	-	-	-	461	46%	
	Day2	L	6h+1	1000	60-70%	-	-	-	836	84%	
		S	4h+0.5	1000	60-70%	-	-	-	477	48%	
2016	Day1	L	7h+1	1000	60-70%	-	-	-	880	88%	
		S	5h+0.5	1000	60-70%	-	-	-	480	48%	
	Day2	L	6h+1	1000	60-70%	-	-	-	580	58%	
		S	4h+0.5	1000	60-70%	-	-	-	285	29%	
2017	Day1	L	7h+1	750	60-70%	40km	1500m	55	510	68%	215
		S	5h+0.5	550	60-70%	28km	1000m	38	310	56%	123
	Day2	L	6h+1	750	60-70%	30km	1300m	43	490	65%	243
		S	4h+0.5	550	60-70%	20km	800m	28	320	58%	139
2018	Day1	L	7h+1	700	60-70%	32km	1300m	45	590	84%	197
		M	6h+0.5	600	60-70%	23km	1000m	33	310	52%	183
	Day2	L	6h+1	700	60-70%	25km	1200m	38	470	67%	271
		M	5h+0.5	600	60-70%	20km	900m	29	330	55%	179

④今後の課題

完走率の低さを考えると今年のコースは全体的には厳しすぎるコースとなってしまったと言わざるを得ない。好天だったことに救われた面もある。コース難度が年によって大きく変わってしまうことは安全性を損なうことにもなるので、安定したコース設定を行う指標が必要となる。

その指標に関してはイギリスから来ていた OMM ディレクターの Stuart Hamilton 氏との議論で今後の方向性が見えてきた。1 日目の結果を受け、土曜の晩に Hamilton 氏と Straight のコース短縮を行うか否かの議論を行った。彼もまた短縮を主張していたがその理由が大きく違った。私自身は完走率の低さからコース短縮の可能性もありうると考えていたが、彼の判断基準は異なり、全体の様子ではなくまずはトップの結果を見て考えるべき、ということであった（なお悪天候時の短縮判断はタイムとは関係なく行われる）。そして彼

との議論を通じてコース設定の考え方に違いがあることが分かった。

1つはウイニングタイムの考え方について。私はこれまでトップ（優勝）チームのタイムをウイニングタイムとしてコースを組んできたが、上位 5 チームの平均タイムが OMM のウイニングタイムなのだという。また OMM JAPAN のウェブサイトで見られる平均完走タイムというの、この上位 5 チームの平均タイムのことを指すのだという。いずれも誤訳が日本の関係者に伝わり、そのまま利用されていたことが原因と考えられる。Score も Straight のペースを基準に範囲を決めていくので、基準が変われば当然利用範囲も変わってくる。このウイニングタイム基準で考えれば、突出した力を持つチームが参加したとしても全体的にはそれぞれのレベルに合わせたコースを組みやすくなるだろう（表 2）。今後は想定ペースを変更してコース設定することが求められる。また、平均完走タイムという表現は参加者がコースを選択する際に大きな誤解を生むためイベント案内の改善もお願いしたい。

また、そもそものウイニング設定がイギリスの設定とは違っていることも指摘された。Straight A は 2 日間の合計で上位 5 チームの平均タイムが 9.5 時間程度になること（1 日目 5.3 時間、2 日目 4.2 時間）、同じく B と C はどちらも 8 時間（4.4 と 3.6）程度のコースにするべき、ということである。Hamilton 氏がコースの短縮を行うべきと強く主張していた最大の理由は、トップチームの出来や完走率の低さではなく、イギリスのフォーマットに合っていない点にあった。

最終的には皆さんご存知の通り短縮を行わずに実施した。トップタイムが OMM JAPAN として想定していた範囲内であったことと、2 日目は確実にタイムが縮まり完走率が上がることを理由に Hamilton 氏に折れてもらった形となったが、氏からは今後はイギリスのフォーマットにできる限り近づけてほしいというリクエストも受けた。

この日英の差は、OMM JAPAN が日本独自の Straight Long と Short というコース設定から始め、その発展型として A、B（旧 Long）、C（旧 Short）と設定を変えてきたことによって生まれたのだろう。もし今回のトレインと参加者で時間設定をイギリスのそれにぴったり合わせるならば、A で約 10km 相当分、B で 5-10km 相当分、コースを短縮する必要がある。一方で国際的な視点で考えればイギリスのコースで入賞するレベルの海外チームが出場することがあれば、今度は短すぎると言われるのではないかという懸念もある。

イギリスのレースを経験し、OMM JAPAN に対する参加者のモチベーションも知る身としては、現在の A を Elite に、B を A、C を B に呼称変更し、時間設定は現在のままとするのが一番すっきりする解決方法だと提案したい。なおイギリスには Straight C に相当するコースはなく、C コースとは Combined（ストレートとスコアの混合）コースを指す。Combined は OMM JAPAN では実施していない。

表2 OMM JAPAN トップ5の平均タイムとペース

(a) Straight

Straight	日	コース	距離+登 (L)	Top time (T)	Top pace =T/L	Top5平均 (5)	Top5 pace =5/L
2014	Day1		52	5:07:30	0:05:55	<b>5:33:12</b>	<b>0:06:24</b>
	Day2		36	3:34:45	0:05:58	<b>4:31:35</b>	<b>0:07:33</b>
2015	Day1	L	58	6:07:26	0:06:20	<b>6:55:27</b>	<b>0:07:10</b>
		S	41	2:53:53	0:04:14	<b>4:23:52</b>	<b>0:06:26</b>
	Day2	L	36	4:22:32	0:07:18	<b>5:02:08</b>	<b>0:08:24</b>
		S	29	3:12:07	0:06:37	<b>4:32:19</b>	<b>0:09:23</b>
2016	Day1	L	43	4:42:29	0:06:34	<b>5:08:19</b>	<b>0:07:10</b>
		S	32	4:28:33	0:08:24	<b>4:54:31</b>	<b>0:09:12</b>
	Day2	L	33	3:49:04	0:06:56	<b>4:11:58</b>	<b>0:07:38</b>
		S	26	3:31:34	0:08:08	<b>4:00:54</b>	<b>0:09:16</b>
2017	Day1	A	62	7:19:32	0:07:05	<b>7:55:43</b>	<b>0:07:40</b>
		B	41	5:16:31	0:07:43	<b>5:44:07</b>	<b>0:08:24</b>
		C	26	3:58:27	0:09:10	<b>3:55:30</b>	<b>0:09:03</b>
	Day2	A	44	5:35:55	0:07:38	<b>6:10:27</b>	<b>0:08:25</b>
		B	31	3:45:29	0:07:16	<b>4:08:24</b>	<b>0:08:01</b>
		C	22	2:54:42	0:07:56	<b>3:12:25</b>	<b>0:08:45</b>
2018	Day1	A	47	<b>6:41:27</b>	0:08:32	<b>7:17:56</b>	<b>0:09:19</b>
		B	38	<b>5:02:18</b>	0:07:57	<b>6:09:40</b>	<b>0:09:44</b>
		C	26	<b>3:50:40</b>	0:08:52	<b>4:21:59</b>	<b>0:10:05</b>
	Day2	A	37	<b>5:56:22</b>	0:09:38	<b>6:36:28</b>	<b>0:10:43</b>
		B	29	<b>4:22:47</b>	0:09:04	<b>5:12:08</b>	<b>0:10:46</b>
		C	22	<b>3:04:39</b>	0:08:24	<b>3:45:39</b>	<b>0:10:15</b>

(b) Score

Score	日	コース	距離+登	Top Score	Top得点率	Top5平均	Top5得点率
2014	Day1		-	384	64%	<b>356</b>	<b>59%</b>
	Day2		-	340	68%	<b>298</b>	<b>60%</b>
2015	Day1	L	-	607	61%	<b>582</b>	<b>58%</b>
		S	-	461	46%	<b>445</b>	<b>44%</b>
	Day2	L	-	836	84%	<b>706</b>	<b>71%</b>
		S	-	477	48%	<b>430</b>	<b>43%</b>
2016	Day1	L	-	880	88%	<b>786</b>	<b>79%</b>
		S	-	480	48%	<b>354</b>	<b>35%</b>
	Day2	L	-	580	58%	<b>522</b>	<b>52%</b>
		S	-	285	29%	<b>247</b>	<b>25%</b>
2017	Day1	L	55	510	68%	<b>454</b>	<b>61%</b>
		S	38	310	56%	<b>270</b>	<b>49%</b>
	Day2	L	43	490	65%	<b>468</b>	<b>62%</b>
		S	28	320	58%	<b>262</b>	<b>48%</b>
2018	Day1	L	45	<b>590</b>	<b>84%</b>	<b>462</b>	<b>66%</b>
		M	33	<b>310</b>	<b>52%</b>	<b>298</b>	<b>50%</b>
	Day2	L	38	<b>470</b>	<b>67%</b>	<b>436</b>	<b>62%</b>
		M	29	<b>330</b>	<b>55%</b>	<b>312</b>	<b>52%</b>

最後に。多くの方から難しかったけれど楽しかったという言葉をいただいた。自身のコースを評価していただけたこと以上に、この5年、OMM JAPANを通じてナビゲーションスポーツの発展に寄与できてきたことを実感し、たいへん嬉しく思う。

コースプランナー  
小泉 成行